

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 長瀬産業株式会社

コード番号 8012 URL <https://www.nagase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 清水 義久 TEL 03-3665-3103

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		売上総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	455,549	21.9	79,383	15.5	19,891	2.0	20,284	△0.9	15,594	6.6
2022年3月期第2四半期	373,762	30.5	68,734	27.8	19,499	118.2	20,467	111.2	14,622	43.5

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 36,815百万円（106.3%） 2022年3月期第2四半期 17,849百万円（△11.6%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	130.95	—
2022年3月期第2四半期	119.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	801,956	383,661	46.5	3,148.87
2022年3月期	739,720	355,092	46.5	2,868.22

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 372,557百万円 2022年3月期 344,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	24.00	—	30.00	54.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,000	14.0	38,000	7.8	39,000	6.9	28,500	9.9	241.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	120,908,285株	2022年3月期	120,908,285株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,593,465株	2022年3月期	881,767株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	119,089,430株	2022年3月期2Q	122,298,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当期の経営成績に関する概況	2
(2) 当期の財政状態に関する概況	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当期の経営成績に関する概況

① 業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による影響から回復の動きが進みましたが、サプライチェーン混乱や資源価格の高騰などから、回復のスピードは緩やかなものとなりました。

当社グループがビジネスを展開する地域を概観すると、グレートチャイナでは、上海ロックダウンの解除や電力不足の解消により経済が持ち直したものの、感染再拡大の影響もあり全体的には鈍化の動きが見られます。米州ではインフレが継続しており、今後の利上げ観測による景気後退の懸念が高まっております。アセアンでは、感染拡大が一服したことで個人消費も進み、経済活動は堅調に推移しております。日本では緩やかな景気回復基調にあるものの、米国景気の先行きや円安による物価高の進行など不透明感が継続しております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	373,762	455,549	81,787	21.9
売上総利益	68,734	79,383	10,648	15.5
営業利益	19,499	19,891	392	2.0
経常利益	20,467	20,284	△182	△0.9
税金等調整前四半期純利益	21,276	21,027	△249	△1.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,622	15,594	972	6.6

- ・ 当第2四半期連結累計期間の業績の前提として、為替が円安に推移したことが増益に寄与しております。
- ・ セグメント別では、加工材料セグメントおよび電子・エネルギーセグメントにおいて減益となったものの、生活関連セグメントがPrinovaグループの牽引により大幅増益となったほか、機能素材セグメントおよびモビリティセグメントが好調に推移しました。詳細は「② セグメント別の概況」をご覧ください。
- ・ 運転資本の増加による借入金の増加や金利の上昇に伴う支払利息の増加等により、経常利益および税金等調整前四半期純利益は減益となりました。また、税金費用の減少および非支配株主に帰属する四半期純利益の減少もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益については、9億円増加の155億円となりました。

② セグメント別の概況

セグメント別の業績および主な要因は、次のとおりであります。

機能素材

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	49,189	57,650	8,461	17.2
売上総利益	9,549	11,463	1,913	20.0
営業利益	3,874	4,545	670	17.3

- ・市況の高騰や円安による影響もあり、塗料・ウレタン原料の販売が増加
- ・加工油剤・樹脂関連原料の販売が増加
- ・半導体関連等の電子業界向けエレクトロニクスケミカルの販売が増加
- ・営業利益は売上総利益の増加を受け、増益

加工材料

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	125,628	135,727	10,099	8.0
売上総利益	16,476	16,371	△105	△0.6
営業利益	6,486	5,041	△1,444	△22.3

- ・OA・ゲーム機器業界等への樹脂販売は円安による増益影響はあったが、前年同期の市況高騰による利益率上昇の反動等もあり収益性が低下
- ・顔料・添加剤、工業用・包装材料用途の樹脂の販売が増加
- ・導電材料、情報印刷関連材料の販売が減少
- ・営業利益は売上総利益の減少を受け、減益

電子・エネルギー

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	62,122	68,361	6,238	10.0
売上総利益	14,767	15,763	995	6.7
営業利益	5,461	5,151	△309	△5.7

- ・半導体用途の精密加工関連の販売が増加
- ・ディスプレイ材料の販売は低調であったが、円安による影響等により収益性が向上
- ・変性エポキシ樹脂関連の販売は、半導体用途向けは好調であったが、モバイル機器向けが低調
- ・ディスプレイ等向けのフォトリソ材料関連の販売が減少
- ・営業利益は売上総利益が増加したものの、販売費および一般管理費が増加したことにより、減益

モビリティ

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	46,843	61,140	14,297	30.5
売上総利益	5,992	7,213	1,221	20.4
営業利益	2,002	2,494	491	24.6

- ・樹脂の販売は自動車生産台数の増加に加え、円安による影響等もあり好調
- ・内外装・電動化用途の機能素材・機能部品の販売が増加
- ・営業利益は売上総利益の増加を受け、増益

生活関連

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	89,857	132,632	42,775	47.6
売上総利益	21,834	28,508	6,674	30.6
営業利益	5,070	6,682	1,611	31.8

- ・ニュートリション関連は素材販売、製造加工ともに好調に推移
- ・トレハ[®]等を中心とした食品素材の販売は増加
- ・AA2G[®]等を中心とした香粧品素材は、主に海外での需要の減少を受けて販売が減少
- ・医薬品原料の販売が増加
- ・営業利益は売上総利益の増加を受け、増益

その他

特記すべき事項はありません。

(2) 当期の財政状態に関する概況

① 資産、負債、純資産等の状況

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減	増減率 (%)
流動資産(百万円)	514,286	567,760	53,474	10.4
固定資産(百万円)	225,434	234,196	8,761	3.9
総資産(百万円)	739,720	801,956	62,236	8.4
負債(百万円)	384,628	418,295	33,666	8.8
純資産(百万円)	355,092	383,661	28,569	8.0
自己資本比率(%)	46.5	46.5	△0.0ポイント	—

- ・流動資産は、棚卸資産および売掛金の増加等により増加
- ・固定資産は、投資有価証券の時価下落があったものの、有形固定資産および無形固定資産の増加により微増
- ・負債は、コマーシャル・ペーパーおよび短期借入金の増加等により増加
- ・純資産は、自己株式の取得および配当金の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および為替換算調整勘定の増加により増加
- ・以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同水準の46.5%となった

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,625	△17,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,947	△5,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,417	11,550

- ・営業活動による資金の減少額は、税金等調整前四半期純利益210億円の計上があったものの、運転資本の増加による資金の減少295億円および法人税等の支払額91億円があったこと等によるもの
- ・投資活動による資金の減少額は、投資有価証券の売却による収入16億円があったものの、有形固定資産の取得による支出57億円および無形固定資産の取得による支出23億円があったこと等によるもの
- ・財務活動による資金の増加額は、社債の償還による支出100億円、配当金の支払額36億円および自己株式の取得による支出32億円があったものの、コマーシャル・ペーパーの純増加140億円、社債の発行による収入100億円および短期借入金の純増加63億円があったこと等によるもの

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の通期連結業績予想は、2022年5月10日公表の数値から変更はありません。

当第2四半期連結累計期間の業績は、上海ロックダウンやモバイル機器の需要減少による影響を受け、加工材料および電子・エネルギーセグメントの業績が当初見込みを下回る結果となったものの、半導体関連ビジネスが好調に推移、またPrinovaグループの取り扱うニュートリション関連ビジネスが想定以上に好調に推移し、加えて円安の影響もあり期初公表の通期連結業績予想ベースで推移しました。

下期以降、原材料価格やユーティリティコストが引続き高い水準で推移することに加えて、世界景気の後退が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続くものの、半導体関連ビジネスが引続き堅調に推移することや自動車生産台数の回復を受け、一定程度の利益を確保できるものと予想しております。

これらの結果、通期連結業績予想は変更しないものの、セグメント別業績予想を以下のとおり修正いたします。
なお、業績見通しの基礎となる為替レートにつきましては1米ドル=140円、1中国元=20円としております。

セグメント別営業利益の予想値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(セグメント別営業利益)

(単位：百万円)

	直近予想(A)(※)	今回修正予想(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
機能素材	8,300	9,500	1,200	14.5%
加工材料	11,700	10,500	△1,200	△10.3%
電子・エネルギー	11,500	10,300	△1,200	△10.4%
モビリティ	4,400	5,500	1,100	25.0%
生活関連	11,200	11,700	500	4.5%
その他・全社	△9,100	△9,500	△400	—
営業利益計	38,000	38,000	—	—

(※) 2022年5月10日公表の通期連結業績予想

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,211	46,124
受取手形及び売掛金	289,862	316,472
商品及び製品	142,590	169,152
仕掛品	2,401	2,134
原材料及び貯蔵品	12,533	15,177
その他	13,935	19,945
貸倒引当金	△1,248	△1,247
流動資産合計	514,286	567,760
固定資産		
有形固定資産	72,554	77,121
無形固定資産		
のれん	29,492	30,959
技術資産	5,912	5,125
その他	29,664	35,815
無形固定資産合計	65,070	71,899
投資その他の資産		
投資有価証券	75,600	72,459
長期貸付金	24	19
退職給付に係る資産	3,139	3,338
繰延税金資産	3,572	3,572
その他	5,583	5,892
貸倒引当金	△112	△108
投資その他の資産合計	87,809	85,174
固定資産合計	225,434	234,196
資産合計	739,720	801,956

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	149,036	152,353
短期借入金	73,121	90,138
1年内返済予定の長期借入金	8,752	8,348
コマーシャル・ペーパー	25,000	39,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	7,100	3,456
賞与引当金	7,648	7,323
役員賞与引当金	497	241
その他	26,678	27,732
流動負債合計	307,836	328,592
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	28,244	29,223
繰延税金負債	12,310	11,265
退職給付に係る負債	13,238	13,517
その他	2,998	5,695
固定負債合計	76,791	89,702
負債合計	384,628	418,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,639	10,639
利益剰余金	280,015	291,775
自己株式	△1,534	△4,761
株主資本合計	298,820	307,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,732	29,170
繰延ヘッジ損益	178	542
為替換算調整勘定	13,690	35,562
退職給付に係る調整累計額	△161	△71
その他の包括利益累計額合計	45,441	65,204
非支配株主持分	10,830	11,104
純資産合計	355,092	383,661
負債純資産合計	739,720	801,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	373,762	455,549
売上原価	305,027	376,166
売上総利益	68,734	79,383
販売費及び一般管理費	49,234	59,491
営業利益	19,499	19,891
営業外収益		
受取利息	76	57
受取配当金	725	831
受取賃貸料	139	124
持分法による投資利益	12	165
為替差益	524	449
その他	248	212
営業外収益合計	1,727	1,841
営業外費用		
支払利息	565	1,207
その他	194	240
営業外費用合計	760	1,448
経常利益	20,467	20,284
特別利益		
固定資産売却益	11	127
投資有価証券売却益	1,457	1,335
その他	271	1
特別利益合計	1,740	1,465
特別損失		
固定資産売却損	173	28
固定資産廃棄損	359	205
投資有価証券売却損	—	7
投資有価証券評価損	173	457
関係会社株式売却損	59	—
その他	163	23
特別損失合計	930	722
税金等調整前四半期純利益	21,276	21,027
法人税等	5,776	5,000
四半期純利益	15,500	16,026
非支配株主に帰属する四半期純利益	877	431
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,622	15,594

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	15,500	16,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,588	△2,552
繰延ヘッジ損益	△19	363
為替換算調整勘定	5,040	22,155
退職給付に係る調整額	△139	90
持分法適用会社に対する持分相当額	56	731
その他の包括利益合計	2,349	20,789
四半期包括利益	17,849	36,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,568	35,358
非支配株主に係る四半期包括利益	1,280	1,457

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,276	21,027
減価償却費	5,598	5,895
のれん償却額	1,243	1,246
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	77	379
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△435	△27
受取利息及び受取配当金	△802	△889
支払利息	565	1,207
為替差損益 (△は益)	△259	△2,823
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,398	△1,327
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,541	△11,298
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△22,765	△11,960
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,507	△6,307
その他	△2,406	△3,880
小計	△9,339	△8,758
利息及び配当金の受取額	894	1,073
利息の支払額	△588	△1,156
法人税等の支払額	△4,591	△9,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,625	△17,982
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,778	△5,725
有形固定資産の売却による収入	304	495
無形固定資産の取得による支出	△657	△2,370
投資有価証券の取得による支出	△741	△228
投資有価証券の売却による収入	1,613	1,651
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	587	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△14	△601
定期預金の純増減額 (△は増加)	△251	239
敷金及び保証金の差入による支出	△1,352	—
その他	342	550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,947	△5,987
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,727	6,389
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	10,000	14,000
長期借入れによる収入	1,900	—
長期借入金の返済による支出	△6,931	△529
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△3,543	△3,227
配当金の支払額	△2,963	△3,600
非支配株主への配当金の支払額	△543	△1,133
その他	△228	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,417	11,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	352	4,754
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,803	△7,664
現金及び現金同等物の期首残高	48,553	53,336
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△204
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,749	45,467

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年2月9日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式1,711,600株を取得いたしました。この結果、自己株式が3,227百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が4,761百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子・エネ ルギー	モビリテ イ	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	49,189	125,628	62,122	46,843	89,857	373,641	121	373,762	-	-	373,762
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	307	361	1,093	1,147	214	3,123	2,015	5,139	-	△5,139	-
計	49,496	125,990	63,215	47,990	90,071	376,765	2,136	378,901	-	△5,139	373,762
セグメント利益又 は損失(△)	3,874	6,486	5,461	2,002	5,070	22,894	74	22,969	△3,691	221	19,499

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。
3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子・エネ ルギー	モビリテ イ	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	57,650	135,727	68,361	61,140	132,632	455,513	36	455,549	-	-	455,549
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	494	415	1,143	911	238	3,204	3,529	6,733	-	△6,733	-
計	58,144	136,143	69,504	62,052	132,871	458,717	3,566	462,283	-	△6,733	455,549
セグメント利益又 は損失(△)	4,545	5,041	5,151	2,494	6,682	23,915	30	23,946	△4,258	204	19,891

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。
3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。